

“デンタルフロスをする”か“死ぬか”

1997年にアメリカで衝撃的なフレーズが世間を騒がせました。

『Floss or Die (フロスをするか死か)』

このフレーズはテレビニュースでも取り上げられ、多くのアメリカ市民に歯周病予防の大切さを知らしめることとなりました。

Floss or Die

このキャンペーンの中では、お口を不潔に保つことがいかに全身の病気に関係しているかということに着目していました。

例えば、歯周病になっている妊婦さんから生まれた子供は「**低体重児**」や「**未熟児**」である確率が**7倍高くなります**。

口の血管を通して細菌が血流に乗ることで血管を傷つけ、心臓にまで達します。

細菌によって傷ついた血管は修復するときに内部が肥厚し血管の内径を細くし、弾力性を失います。

この結果「**動脈硬化**」や「**狭心症**」が起きるのです。

同じく血流に乗った細菌が生殖器の血管に作用すると「**勃起不全**」として症状が現れます。

アメリカで行われた調査によると、歯周病になっている人は健康者と比べて**7倍もEDになる**ことが分かりました。

こういった科学的な事実から、お口の健康を保つために次の4項目が推奨されています。

1. フッ素入り歯磨き粉で1日2回歯を磨き、3~4ヶ月毎に歯ブラシを取り替える。
2. 毎日フロスをする。
3. バランスの良い食事を心がける。
4. 定期的な歯科健診を受ける。

LOW BIRTH WEIGHT

EXPECTANT MOTHERS WITH POOR DENTAL HYGIENE ARE UP TO **7X MORE LIKELY** TO DELIVER PREMATURE AND LOW BIRTH WEIGHT BABIES.

口腔清掃状態の悪い妊婦さんからは「未熟児」や「低体重児」が7倍生まれやすくなります。

SEVERE GUM DISEASE

1/2 OF ALL CASES OF SEVERE GUM DISEASE ARE A RESULT OF SMOKING, AND GUM DISEASE IS

3X HIGHER

IN PEOPLE WHO SMOKE COMPARED TO THOSE WHO HAVE NEVER SMOKED.

喫煙している人は歯周病に3倍かかりやすくなります。

歯周精密治療

歯周病予防プログラム

健康長寿

セルフケア教育

生涯メンテナンス



FUKUSHIMA DENTAL CLINIC



日本歯周病学会 専門医

東京都多摩市馬引沢2-3-29 MAHIKIZAWA f
TEL:042-389-0281 WEB:fukushima-dental.jp



FLOSS OR DIE

フロスをするか死か



THE EFFECTS OF POOR DENTAL HYGIENE ON YOUR BODY

【口腔内を不潔にすることで起きる体への悪影響】

(口臭)

HALITOSIS

通常の歯ブラシやデンタルフロスを怠すことで細菌が繁殖し、「硫化水素」などの化学物質が生成されます。硫化水素の臭いは古い卵から発せられるような臭いです。

(心臓病)

HEART DISEASE

歯周病にかかっている人は歯周病菌が血管を通して血流に入り込むため、心臓の病気に2倍かかりやすくなります。

研究からも虫歯や歯周病、歯を何本か失っているという状態は「コレステロール値」と同じくらい心臓病の予測を立てることができます。

(糖尿病)

DIABETES

アメリカ人の糖尿病患者の95%は歯周病にかかっています。

さらにその1/3は進行した歯周病のため歯を失っています。

(勃起不全)

ERECTILE DYSFUNCTION

血流に乗った歯周病菌は血管に炎症を起こさせ、生殖器の血流を遮断します。

実際に歯周病の男性は健常者に比べて7倍勃起不全になることが分かっています。

(歯周病)

PERIODONTAL DISEASE

歯の周りの骨がふやけると溶けていき、次第に歯を失ってしまいます。65歳以上のアメリカ人の25%が歯周病が原因で歯を失っています。

(動脈硬化)

ATHEROSCLEROSIS

細菌による重度の感染症は心臓の動脈を詰まらせ、心臓発作のリスクを高めてしまいます。

(呼吸系の疾患)

RESPIRATORY PROBLEMS

歯周病菌は血管を通過して肺にまで達し、呼吸器系を悪化させます。

これはすでに肺の疾患を持っている患者さんで顕著に見られます。

